

東洋大学 スーパーグローバル大学 (SGU) 創成支援採択事業ロジックモデル

インプット

SGU予算

- 物品費**
- 消耗品費
- 人件費**
- 専従教職員人件費
- 謝金**
- 招聘者/外部専門家
- 旅費**
- 海外・国内旅費
- 海外招聘旅費
- その他**
- 外注費**
- ポートフォリオ
- システム保守料
- 語学講座実施業務
- 印刷製本費**
- 広報用資料/テキスト・資料等印刷
- 会議費**
- 学生ワークショップ
- 通信運搬費**
- 資料等送付代
- 海外データ通信費
- その他 (諸経費)**
- 派遣型契約制職員
- 業務委託 (海外拠点管理/入学前教育実施/グローバル継続教育/渡日前入試等)
- 大学独自予算**
- 人件費 (ビジネス英語講師)
- 謝金 (留学生チューター)
- 外注費 (外国語翻訳、課外英会話講座運営) 等

アクティビティ

- 具体的ビジョン・中期計画等の検討
- 学内組織の改編
- 国際通用性を見据えた採用と研修の実施
- 国際大学連盟によるISAS(国際戦略に関する助言)受審準備
- IR室、高等教育センター自己点検・評価分析
- 事業法人化の検討
- 新学部等設置準備
- FD・SD活動
- 東洋グローバルリーダー(TGL)プログラムの実施及び管理システム開発
- UMAP(アジア太平洋大学交流機構)国際事務局誘致
- 海外への業務出張
- ISEP, IES等との連携協議
- 渡日前入試の実施
- 課外語学講座等の受講支援
- フルスカラーシップの創設
- 翻訳作業等外注

アウトプット

- 具体的ビジョン・中期計画等の策定
- 国際連携本部及び国際教育センター設置
- 関係規程の整備
- 外国人等教職員の増加及び女性参画の拡大
- ISAS2.0の受審
- IR機能の強化・充実
- 東洋大学グローバルサービス(株)設立
- 新学部開設及び学科改編
- TGLの育成及びEポートフォリオによる一元管理
- 海外大学との協定数増加及び学生の留学機会増大
- 国際編転入制度導入
- 各種奨学金制度の拡充
- 語学学習環境の充実
- 外国人留学生の増加
- クォーター制、秋入学の導入
- シラバスの英語化率向上

初期アウトカム

ガバナンス

- 中長期ビジョンの明示
- 国際化推進体制の確立 (国際連携本部による統括、全学参画の部会編成)
- 国際教育センターの機能拡充 (既存部署の統合、事務局1部1課体制へ移行)

組織

- 教職員の多様性促進
- 教務システムの質保証と国際通用性の向上
- 教職協働体制の確立
- 国際化推進に関わる教職員の増加
- 国際化業務のアウトソース及び事業化進展

教育・研究

- 教育目標3Pの再構築
- 英語による授業科目数・英語トラック課程の増加
- EポートフォリオによるTGL育成状況の可視化
- 国際的ネットワークの構築
- 学生の流動性向上
- 国際通用性の高いプログラムの展開
- 留学支援制度の充実
- 学生の外国語力向上
- 日本語教育の充実
- 柔軟な学事暦の構築
- ダブルディグリープログラムの実施

中・長期アウトカム

戦略的三大改革の発現

- ① 国際編入制度やUMAPスキームにより「国際通用性の高いプログラム」を展開しアジア版エラスムスを実現。
国際通用性の高いプログラム
- ② 幼稚園からシニアに至る幅広い世代を対象に「全世代グローバル教育」を実施し社会に貢献。
普遍的な全世代グローバル教育
- ③ 事業法人化を通じた「持続可能な教育プラットフォーム」の構築により、自走化モデルを提示。
持続可能な教育プラットフォーム

アジアのハブ大学へ

インパクト

◆ 世界で活躍できる人材の輩出と分厚い中間層の形成

東洋グローバルリーダー(TGL)プログラムを通じて、語学力・異文化適応能力・問題解決能力を備えた人材を育成。ニューエリート(460名)の育成と中間層(2,500名)の底上げを果たし都市型総合私立大学のグローバル化を牽引。

◆ UMAPの活動を通じ学生の流動性を加速

アジアのハブ大学構想を体現するUMAP(アジア太平洋大学交流機構)の取組みはTimes Higher Educationに掲載される等、国際的に高い評価。本学はUMAP国際事務局として加盟諸国と連携し学生のモビリティ向上に貢献。

◆ 事業会社と連携した国際化推進自走化モデルを提示

国際業務の事業化により安定的な収益基盤を確立。「持続可能な教育プラットフォーム」の構築事例として自走化を実現。